

女性獣医師がより活躍できる環境づくりのために (日本獣医師会の取組みについて)

近年、獣医学系大学における学生の約半数は女性であり、農林水産省による獣医師法第22条の届出調査(平成26年12月末現在)において、20～30歳代の獣医師の半数は女性である。一方、同届出調査によれば、60歳未満の女性獣医師の約6%に当たる682人は無職であり、就業の継続、復職の円滑化が課題とされている。

このため、本会では、女性獣医師の活動支援を図ることを目的として、平成25年に「女性獣医師支援特別委員会」を設置、平成27年に報告書「女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて—獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために—」が取りまとめられた。

報告書では、女性獣医師がより働きやすい環境づくりをめざすことは、男性獣医師も含めたすべての獣医師が働きやすい環境づくりにつながり、獣医師全体のワーク・ライフ・バランスの改善に資するとして、そのために必要な具体的な取組み等の提案がなされた。

提案されたことを実施していくため、平成27年度に、職域総合部会に個別委員会「女性獣医師支援対策検討委員会」を設置して検討を続け、農林水産省補助事業「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」を活用しつつ、取組みを進めたので、おもなものを紹介したい。

1 女性獣医師応援ポータルサイト

女性獣医師等の活躍促進のための幅広い情報を一元的に提供する情報プラットフォームとして「女性獣医師応援ポータルサイト」(<http://nichiju-shien.com/>)を立ち上げ、ロールモデル、eラーニング教材、求人情報、セミナー・研修関係情報等を紹介しており、順次コンテンツを追加している。

ロールモデルは、産業動物診療獣医師、家庭動物診療獣医師、公務員(行政)獣医師のカテゴリーに、新たに大学・研究・展示施設獣医師のカテゴリーを加えて、掲載している。

eラーニング教材は、関係機関の協力も得て既存の各種教材をまとめて掲載しているほか、世界獣医師会の生涯研修の紹介、獣医師クイズ(プレオープン版)、獣医学生向けセミナーの動画等を掲載している。

また、女性獣医師等就業支援研修や日本獣医師会獣医学術学会年次大会でのシンポジウムの開催案内・結果概要、相談窓口、求人情報の紹介等、さまざまな情報を掲

載している。

今後もコンテンツの充実を図るので活用いただき、意見、要望をお寄せいただきたい。

2 女性獣医師等就業支援研修

復職をめざす女性獣医師等を対象とした職場復帰・再就職に必要な最新知識の修得、獣医療技術の向上を目的として、家畜保健衛生所、動物検疫所、民間の家畜診療施設等の協力を得て「女性獣医師等就業支援研修」を、平成28年度は8カ所で9回実施した(別紙1)。

本研修は、産業動物診療や家畜衛生分野に対象が限られており、参加者数は多くないものの、参加者へのアンケートで、全員が「大変役立つ」と回答され好評であった。今年度も引き続き実施する予定であり、広くお知らせし、復職をめざす多くの方々に参加いただきたいと考えている。

3 女性獣医師等の就業環境に対する理解を醸成するための講習会

診療施設の雇用主、管理職等を対象とする女性獣医師等の就業環境に係る理解醸成のための講習会として、平成28年度は日本獣医師会獣医学術学会年次大会(石川)においてシンポジウムを開催した(別紙2)。

参加者へのアンケートで、「女性獣医師の就業継続とキャリアアップに関するヒントが得られたか」を尋ねたところ、「得られた」が58%、「得られなかった」は4%であった。

女性獣医師等の就業環境に対する理解を醸成するために、シンポジウム(講習会)を今年度も引き続き開催する予定である。

4 女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー

全国の獣医学系大学において、獣医学生を対象に、将来の働き方や就業先等について考える機会を提供することを目的として、獣医学生向けのセミナーを、平成28年度は全国13大学で14回開催した(別紙3)。

参加者へのアンケートで、「仕事を継続するためのヒントが得られたか」を尋ねたところ、「得られた」が62%、「得られなかった」は3%であった。

将来獣医師として仕事を続けていくために、学生のう

ちから考える機会の提供としての本セミナーを、大学のご意見、ご要望等をふまえ、実施方法等を工夫しながら今年度も引き続き開催する予定である。

なお、酪農学園大学の浅川教授から本セミナーの報告が寄せられたので併せて紹介したい（別添）。

別紙 1

平成 28 年度「女性獣医師等就業支援研修」開催一覧

	開催場所（開催地）	開催日時	講習内容（講師・所属）
1	農林水産省動物検疫所 （横浜市磯子区原町 11-1）	10月26日（水） 8:45～17:15	動物検疫所の業務（全般）（畜産物検査業務、動物係留施設の検査業務等） （増田真人：農林水産省動物検疫所）
2	農林水産省動物検疫所 羽田空港支所 （大田区羽田空港 2-6-4 羽田空港 CIQ 棟）	11月 2 日（水） 10:00～16:00	動物検疫所の羽田空港支所の業務（携帯品検査業務等） （角田隆則：農林水産省動物検疫所 羽田空港支所）
3	茨城県北家畜保健衛生所 （水戸市中河内町 966-1）	12月20日（火） 8:30～17:15	茨城県の畜産と家畜衛生 （前田育子：茨城県北家畜保健衛生所）
4	農林水産省動物検疫所 畜産物検疫課 （横浜市中区北仲通 5-57 横浜第 2 合同庁舎内）	1 月 11 日（水） 8:45～15:00	動物検疫所の業務（全般）（畜産物検査業務等） （増田真人：農林水産省動物検疫所）
5	農林水産省動物検疫所 羽田空港支所 （大田区羽田空港 2-6-4 羽田空港 CIQ 棟）	1 月 12 日（木） 10:00～16:00	動物検疫所の羽田空港支所の業務（携帯品検査業務等） （角田隆則：農林水産省動物検疫所羽田空港支所）
6	神奈川県農業共済組合 （伊勢原市上粕屋 43-2）	1 月 31 日（火） 8:30～ 2 月 3 日（金） ～16:30	肉用牛、乳用牛の問診、視診、聴診、触診、検温やその他検査等の実習及び治療方法、直腸検査手技の実習等、疾病予防と群管理等。 （住吉俊亮：神奈川県農業共済組合） （榎本友弥：神奈川県農業共済組合） （小林延竹：神奈川県農業共済組合）
7	広島県農業共済組合 北広島家畜診療所 廿日市分室 （廿日市市本町 10-14）	3 月 4 日（土） 9:00～ 3 月 6 日（月） ～17:00	・牛の一般診療における基本診断の実習 ・聴診、触診、乳汁検査、直腸検査など牛の保定法及び繋留方法の実習 （大川雄三：広島県農業共済組合） （黒瀬智康：広島県農業共済組合） （酒井 亮：広島県農業共済組合）
8	石川県南部家畜保健衛生所 （金沢市才田町 324-2）	3 月 10 日（金） 8:30～12:00	(1) 防疫課業務について ①家畜伝染病予防法の改正について ②検査体制について（入牧検査等） ③平成 28 年度検査実施状況について ④防疫マップシステムについて（実習） ⑤その他 (2) 各種検査法等について（追加・変更点） ① BVD-MD 検査（ELISA 法等） ②鳥インフルエンザ検査 ③写真撮影・画像送信（実習） ④その他 (3) その他業務について（変更点・平成 28 年度実績等） ・動物薬事、獣医事 ・衛生指導事業 ・北部家保管内の状況（廃業・新規農家等） ・その他 （植田寿美：石川県南部家畜保健衛生所） （中田昌和：石川県北部家畜保健衛生所） （河合愛美：石川県南部家畜保健衛生所） （沖 尚子：石川県北部家畜保健衛生所）
9	全国農業共済協会 （千代田区一番町 19 番地）	3 月 29 日（水） 14:00～17:00	①産業動物臨床獣医師と農業共済 （横尾 彰：全国農業共済協会） ②家畜共済事業について （下田 崇：全国農業共済協会）

別紙 2

平成 28 年度「女性獣医師等の就業環境に対する理解を醸成するための講習会」開催一覧

	開催場所（開催地）	開催日時	講習内容（講師・所属）
1	ホテル金沢 2階 ダイアモンド B (第 1 会場) (金沢市堀川新町 1-1)	2月24日(金) 13:00～16:00	◎シンポジウム「女性獣医師の就業支援の取組み」 ・問題提起「女性獣医師支援の現状と課題」 (大石明子：農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課) ・基調講演 「女性が輝く日本を目指して～農業界における女性の活躍促進～」 (久保香代子：農林水産省経営局就農・女性課) ・講演①「日本獣医師会における取組み」 (栗本まさ子：日本獣医師会) ・講演②「石川県家畜衛生女性獣医師の「ファースト・ペンギン」として」 (植田寿美：石川県南部家畜保健衛生所) ・講演③「小動物臨床分野における取組み事例 ～女性獣医師を雇用する～」 (福原美千加：みかん動物病院) ・講演④「NOSAI 福島における取組みと課題」 (田中ゆうか：福島県農業共済組合) ・講演⑤「教育現場での取組み」 (佐藤れえ子：岩手大学)

別紙 3

平成 28 年度「女性獣医師就業支援学生向けセミナー」開催一覧

	開催場所（開催地）	開催日時	講習内容（講師・所属）
1	日本獣医生命科学大学 E 棟 111 講義室 (武蔵野市境南町 1-7-1)	11月30日(水) 17:15～19:15	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (原田麻希子：家畜改良センター) (福原美千加：みかん動物病院)
2	麻布大学 8号館 5階 8501 講義室 (相模原市中央区淵野辺 1-17-71)	12月1日(木) 17:00～18:50	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (原田麻希子：家畜改良センター) (福原美千加：みかん動物病院)
3	北里大学獣医学部 (十和田市東二十三番町 35-1)	12月6日(火) 10:10～12:20	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (栗本まさ子：日本乳業技術協会) (福原美千加：みかん動物病院)
4	岩手大学農学部 5号館総合教育研究棟・ぼらんホール (盛岡市上田 3-18-8)	12月9日(金) 15:00～16:40	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (福原美千加：みかん動物病院) (白戸綾子：家畜改良センター)
5	岐阜大学応用生物科学部 C 棟 2階 23 番教室 (岐阜市柳戸 1-1)	12月19日(月) 13:00～14:30	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (山田典子：岐阜県関保健所) (額田聡子：千葉県農業共済組合連合会)
6	大阪府立大学生命環境科学域獣医学類 (りんくうキャンパス) 前半：2階 第一講義室 後半：1階 会議室 (泉佐野市りんくう往来北 1-58)	1月13日(金) 14:00～17:00	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (田中公子：農林水産省動物検疫所) (梶木富美恵：神奈川県保健福祉局)
7	鳥取大学農学部 1号館 2階 大セミナー室 (鳥取市湖山町南 4-101)	1月17日(火) 15:00～16:45	①獣医師の活動状況, 女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (田中公子：農林水産省動物検疫所) (福原美千加：みかん動物病院)

8	酪農学園大学 C1号館301教室 (江別市文京台緑町582)	1月20日(金) 10:10～11:10	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (額田聡子：千葉県農業共済組合連合会)
9	酪農学園大学 A3号館305教室 (江別市文京台緑町582)	1月20日(金) 14:30～15:40	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (額田聡子：千葉県農業共済組合連合会)
10	日本大学生物資源科学部 1号館3階134講義室 (藤沢市亀井野1866)	1月23日(月) 16:30～18:00	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (梶木富美恵：神奈川県保健福祉局) (福原美千加：みかん動物病院)
11	鹿児島大学共同獣医学部 農獣医共通棟302室 (鹿児島市郡元1-21-24)	1月24日(火) 14:30～16:10	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (魚住るりこ：鹿児島県川薩保健所) (福原美千加：みかん動物病院)
12	山口大学 共通教育棟41番教室 (山口市吉田1677-1)	2月6日(月) 16:10～17:40	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (白戸綾子：家畜改良センター) (福原美千加：みかん動物病院)
13	東京大学 弥生キャンパス フードサイエンス棟1階 中島記念ホール (文京区弥生1-1-1)	2月16日(木) 10:30～12:10	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (栗本まさ子：日本乳業技術協会) (額田聡子：千葉県農業共済組合連合会)
14	宮崎大学農学部 獣医棟1階 視聴覚室 (宮崎市学園木花台西1-1)	3月6日(月) 13:00～14:45	①獣医師の活動状況、女性獣医師就業支援の趣旨等 (日本獣医師会) ②女性獣医師の就業現場の現状と今後について (早矢仕裕子：東京都福祉保健局) (白戸綾子：家畜改良センター)

別添

酪農学園大学獣医学類における日本獣医師会主催 「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向け セミナー」開催報告と学生の反応

浅川満彦[†] (酪農学園大学 獣医学群 獣医学類
感染・病理学分野／同学類就職委員)

2017年1月20日、(公社)日本獣医師会が主催した形で「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー」が開催された。このセミナーは平成28年度 獣医療提供体制整備推進総合対策事業・管理獣医師等育成支援事業・獣医師就業支援対策事業の一環として、他大学でも実施されている[1]が、今回は、獣医学類3年生を対象にした正規授業内で行われたことから、酪農学園大学 獣医学群 獣医学類が共催する形式をとらせてい

ただいた。振り替えられた授業は『獣医寄生虫病学各論B』(獣医学類3年、必修)であったが、その理由は著者が当該学類のこの科目の担当であったことから、調整が簡略という便宜上の利点を優先したからであった。

貴重な授業を振り替えるには、学生に対し、明確な説明責任を果たすことが必須である。授業は学生のものであるからだ。当該課目後期最後のコマをこのセミナーに充当していたので、昨年12月の2コマの授業を用い、

[†] 連絡責任者：浅川満彦 (酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 感染・病理学分野 獣医寄生虫病学ユニット)

〒069-8501 江別市文京台緑町582 ☎011-388-4758 FAX011-387-5890 (獣医学群事務室)
E-mail: askam@rakuno.ac.jp



図1 日本獣医師会主催／酪農学園大学獣医学類共催「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー」開催状況（左：長野獣医師による趣旨説明，右：額田獣医師による講演）

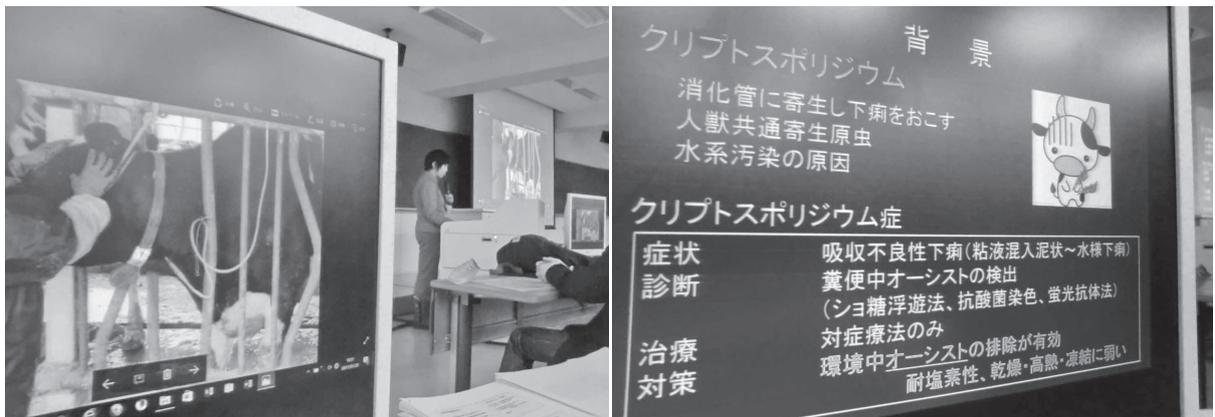


図2 額田獣医師による講演で用いられたスライド抜粋（左：診療の様子，右：寄生虫病の症例）

その予告と趣旨説明をした。また、聴講後、感想文の提出を依頼していた。この感想文は記名式で、専用紙を配布し、そこには記された内容が本報告で引用されることもあるとも知らせた。当然、彼らの胸中には出欠チェックも兼ねたものとされていたであろう。

セミナーは10時10分に開始され、まず、日本獣医師会事務局・長野晋太郎 獣医師が本セミナーの趣旨説明を（図1左）、次いで千葉県農業共済組合連合会東部家畜診療所 係長・額田聡子 獣医師が『女性獣医師の就業現場の現状と今後について』と題された講演（図1右）で構成されていた。両講師には大変申し訳なかったが、会場となった教室では、セミナー直後に別の教員による別の学年の授業が控えており、双方30分ずつの時間は、例外なく厳守！の念を押させていただいた。

額田獣医師による講演では、農家における診療の様子や彼女ご自身の生活・趣味（マラソンや空手など）にも触れていただいたものであった（図2左）。また、寄生虫病の授業を転用されたことを心に留められていらしたようで、講演終わりには彼女自身が経験された牛の原虫性疾患（ジアルジア・クリプトスポリジウムの混合感染症）についてもお話しいただいた（図2右）。これは、著者から事前に何も依頼はしていなかったのに、驚きつ

つも大変嬉しかった。前述したように授業は学生のものである。今回のセミナーのように本来の授業内容と大きく外れることによるクレーム惹起の危険性を孕んでいたため、このような配慮は「保険」となろう。感謝したい。

出席者は『獣医寄生虫病学各論B』履修者の学生93名（提出感想文数）のほか、及川学類長、中出教務部長、十倉就職部長ほかの教員であった。実は額田獣医師は本学臨床系教室の出身であったことから、教え子の活躍を実見しに参加されたようだ。本学類学生の就職状況は著者[2]が紹介したように、伴侶系動物病院約60%、農業共済組約13%、公務員約24%、民間農場約2%、その他約1%で、生産動物医療分野の比率がほかの大学よりやや高いのが特徴である。したがって、額田獣医師の講演内容に関しては、ほぼすべてが好意的な感想ばかりとなった。

しかし、これは記名式であったため、当たり障りのないことが記入された可能性があるため、むやみに信じてはならないだろう。本セミナーでは主催者の日本獣医師会が別に用意した無記名アンケートも用意されていたが（提出は任意）、そちらの自由記入欄には批判的な意見も少なくなかった。抜粋すると「むしろ女性を区別してしまう」、「性的マイノリティーも同様に扱うべき」、「アン

ケートに性別記入する欄は不要」などである。また、記名式感想文に1名の女子学生から、痛烈な批判が寄せられた。すなわち、女性は子どもを産むための道具であるような固定概念を押し付けられたように感じ、「女性支援」という語は気軽に使うべきではない、正規授業を利用して強制的に行うべきものではなかったことが記されていた。語の捉え方などで必ずしも正鵠を得たものとは言えない部分も認められたが、自身の考えを持ち、これを率直に披瀝されること自体、評価すべきであるし、このような後輩（著者も本学出身）を持ち得たことを誇りに思いたい。

最後に本セミナー対象を学部3年生に絞り込んだのが適当であったのかどうかについて論考したい。通常、本学の場合、このようなセミナーは就職部が受け入れて行う。対象も5、6年生などのような就職を目前にした学年が対象とされていた。実際、ほぼ同じ内容の講演会が午後に実施され、1年生2名、5年生6名の計8名が参集した。だが、3年生は入学時の熱き思いがやや冷めか

け、しかし、卒業まではまだまだという中弛み状態である。また、学生間に性差は認識されず（想像すらできない）、むしろ女性は勉学熱心で、ゆえに成績が良いとされている。そのような「穏やかな」状況下で、日本獣医師会の「女性獣医師の就業を支援するための獣医学生向けセミナー」を実施することは、やや勇気が必要な試みではあった。しかし、批判的な感想を熟読された及川学類長が「もし、居酒屋で彼らと一緒にいることがあったら論議したい」と吐露されていたが、著者もまったく同感である。この試みが中弛みの学生たちと教員が真剣に論議する端緒となったとしたら、それだけで成功であったのではなかろうか。

参 考 文 献

- [1] 栗本まさ子：すべての獣医師がのびのびと活躍できる環境づくりのために、日獣会誌, 69, 56-59 (2016)
- [2] 浅川満彦：酪農学園大学獣医学類卒業者の就職動向とその対応, 獣医学振興, 5, 37-40 (2016)